

被災地の水質モニタリングにおいてダイオキシン類が検出



環境省では東日本大震災を受け、被災地の公共用水及び地下水について有害物質等の水質モニタリング調査を実施しました。青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県内について調査を行った結果、一部で環境基準を上回るダイオキシン類が検出されました。

- 1) 地下水質モニタリング結果(環境基準 1pg-TEQ/L 以下)
青森県、岩手県、宮城県及び茨城県において、全測定地点について環境基準値以下でした。
福島県いわき市の一地点において、28pg-TEQ/L と環境基準を超過しました。
- 2) 河川水・底質モニタリング結果(環境基準 河川水:1pg-TEQ/L 以下、底質:150pg-TEQ/L 以下)
青森県、岩手県において、全測定地点について環境基準値以下でした。
宮城県の4地点の河川水(定川、鳴瀬川、高城川、名取川)について1.1~2.7pg-TEQ/L と環境基準を超過しました。
福島県の1地点の河川水(逢瀬川)について1.4pg-TEQ/L と環境基準を超過しました。
茨城県の1地点の河川水(茂宮川)について2.5pg-TEQ/L と環境基準を超過しました。
- 3) 海水・底質モニタリング結果(環境基準 海水:1pg-TEQ/L 以下、底質 150pg-TEQ/L 以下)
青森県、岩手県、宮城県、福島県及び茨城県において、全測定地点について環境基準値以下でした。

当社ではダイオキシン類の測定についても実績があります。ご不明な点等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料 2011年9月6日付 環境省報道発表資料

化学分析箇所 山本倫大

放射性物質の測定を開始しました!

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに8月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。